

# 霊術の先駆者「水原實」

みず はら みのる

## 文 秋山真人

Text by Makoto Akiyama

### スーパーパーソナル 超自分能力開発の近代史

#### 今

現在、アメリカの大病院の大手、たとえばハーバードやジョン・ホプキンスなどでは、「レイキ」とよばれるスピリチュアルな日本発のヒーリング技術が、正々堂々と治療のカリキュラムの中に取り入れられている。マインドフルネスなどという言葉も輸入され、要は、瞑想や伝統的精神技術が、有効であり意味があるということが、認められつつあるのだ。詳しく知りたい方は、三菱UFJのリサーチャーである有元裕美子氏の『スピリチュアル市場の研究』（二〇一一年、東洋経済新報社刊）を一読されるとよい。

に、さきほどのアメリカのケースでは、レイキ・ヒーリングは、多くが保険診療の中で行われているのである！この事実を、霊術の先駆者、水原實（みずはらみのる）が知ったら、さぞガッカリされる事だろうと思う。水原は、明治三二年に『信天養生術』なる霊術テキストを出版し、明治四〇年に再版を重ねている。

しかし、そのスピのノウハウの発信元である日本では、個人の医師がウラ業としてヒーリングを行う実例は増えているのだが、大病院でヒーリングを！という動きは、まだない。ちなみ

そもそも、明治二二年、水原産婆学校を創立、幕府の西洋医学所で、最初の外人医学教師、ボンペ（一八二九〜一九〇八）について学んだオランダ医学の学徒であった。維新後は陸軍軍医としても働いている。

で簡単に続けられるもので、主に、手で身体をこする法と、身体の動作法などが図示されている。重要と思われるものをここに示しておく。（図版）

このバリバリのハイカラ蘭学医が、霊術とはこれいかに。氏の言葉を追ってみよう。

第一坐術 先づ正坐して氣を下腹に充たし、力を腰背に入れ、大磐石の如く、胸を前に張出し、頭を直立せしめ、以下諸術を所要、頸を縮め腕を屈め、手を握り肩を彎かす事、一息間にして、忽ち肩を下げ、頸を伸ばし腕を下す事、又一息間此の如き事三五度なるべし、開度数は三五七と奇数以下に増減すべし、第二坐術 次で伸したる頸を左に廻らし更に右に廻らす事一息及び度數上の如し。

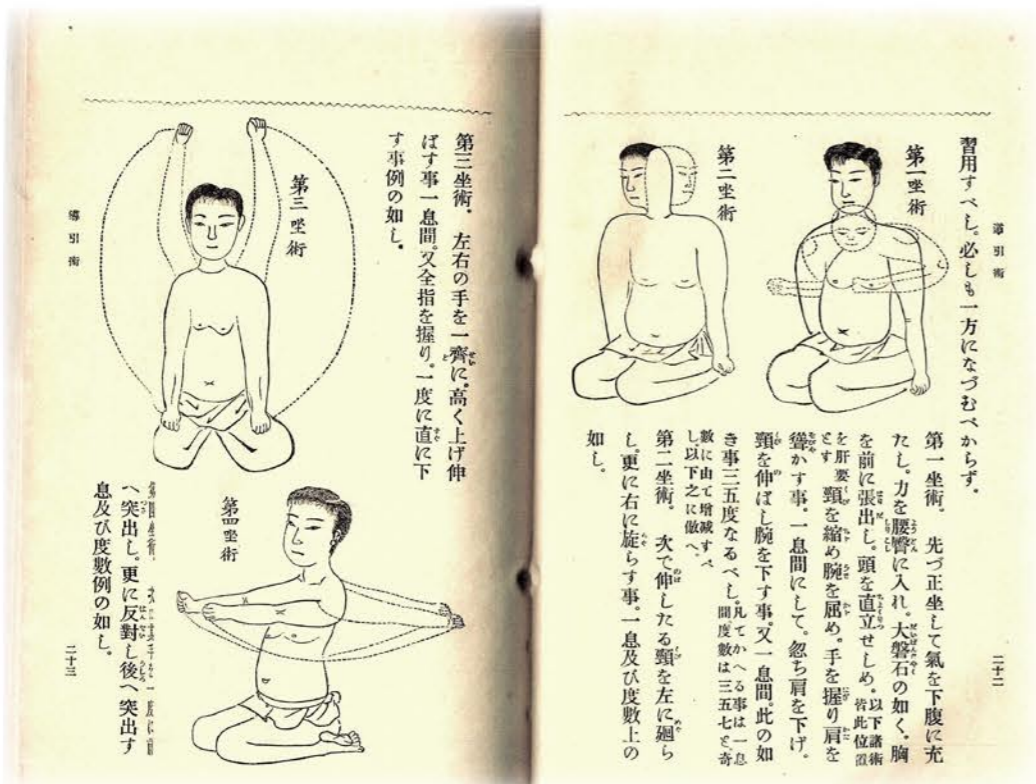
水原氏の信天術は「宗教」として大団の組織に発展するものではなかったが、氏の精神性の深みは、その一族達の流れの中で、受け継がれたのかもしれない。

孫である水原秋桜子は、俳句界の巨星として、また医師として名を残している。

今回は、さらに理論と実践の両面に大きな影響力を持った催眠術のエキスパート、桑原俊郎というインテリ霊術家について触れてみたい。氏は、当時の静岡師範学校（今の静岡大学）の教師であった。

#### Profile

大正大学大学院卒。十代の頃、スプーン曲げ少年として取り上げられ、警察、郵政、雑誌編集長など様々な職をへて、現在は、モバイル企業の大手顧問、コンサルタント、さらに画家としても活動している。イマジニア株式会社にて立ち上げたモバイルコンテンツ、「開運夢診断」は、二億アクセスを超えるメガヒットとなった。国際気能法研究所所長。マインド・アンティーク博物館館長。宗教・スピリチュアル、精神世界のアドバイザーとして長老的存在。一九六〇年生まれ。分野の垣根を越えた広い人脈と交流。



心身をいやす動き方を示した図